

南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川

12月は年末で忙しい時期とともに寂しい季節のイメージがあります。しかし通所ではクリスマスツリーを飾り付けし、かわいいおやつを食べて過ごしました！皆様はどのようにお過ごしでしたか？



Merry Christmas!!



ぼたん通信

1月号



南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川

ツリーの飾り付けをしました。利用者様の作品です。



朝きげんよくしろう
思は遠からかえ地
人け馬鹿なれいら
年忌法事しろう
家業に精を出せ
働いて儲けて使え
げくらは決してお
大あしは喰うな
亭主は立てる
初心は忘れるな

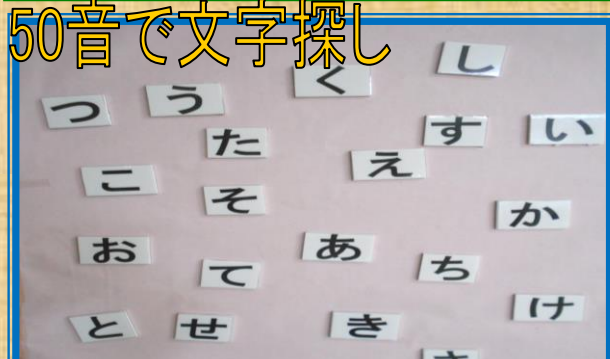
親父の小言

後始末はきちんしろ
神仏はよく拜ませ
何事も身が相違た
水は絶やせぬやう
舌は気をつけろ
女房は早くもて
人に腹をたてるな
産前産後大切しろ
不吉は言っちゃあ
書物や多く読め

火は粗末にするな
頼みは人にはおこ
風吹くと遠くなるな
人には貸しなすれ
食行住にせぬ
借りては使えぬ
義理は欠かすな
大酒は飲むな
人の意は助げぬ
年寄りはいたわれ

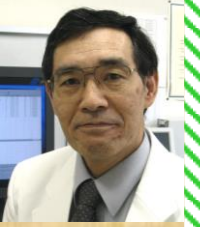
丹東 峯

50音で文字探し



あなたの注意力は？

〔令和三年一月十五日発行〕
一般財団法人 脳神経疾患研究所
附属総合南東北病院 附属須賀川診療所
南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川
南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川



明けましておめでとうございます。
職員一同、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

二〇二一年の干支「辛丑(かのとうし)」は、十干が「辛(かのと)」で、十二支が「丑(うし)」です。

言葉に当てられ、ツライ、カライ、ヒドイなどの意味を持つています。さらに「辛」は思い悩みながら、ゆつくりと衰退していくことや、痛みを伴う幕引きを意味するのだそうです。また「丑」は、発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を破ろうとしている状態で、命の息吹を表しています。種の中に今にもはち切れそうなくらい生命エネルギーが充満している状況といえれば分かりやすいでしょうか。つまり、辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になることを指し示しているとのこと(歴史学者 村上瑞祥さんのブログより)。新型コロナウイルス感染拡大を受け、ワクチンや治療薬への期待が寄せられています。今年には是非とも赤べこのご利益に預かりたいものです。

さて、新年早々で些か恐縮ではありますが、新型コロナウイルスの最新情報についてのお話をさせていただきます。ウイルスに暴露された後、意外にも約八〇%の方は無症状あるいは軽症のまま自然治癒してしまうというのが最大の特徴で、二〇%ぐらいの方が発病し七日から十日ぐらいで肺炎症状が増悪して入院、入院患者さんの五%ぐらいの方が重症化し人工呼吸器が必要になるということは既にご存知のことでしょう。このように症状が非常に軽い期間にいろんな所に出歩いて、いろんな人に出会うことで感染症が広がる、まさにパンデミックになりやすい要因を兼ね備えた感染症ということです。重症化しやすい方は、①七〇歳以上、②著しい肥満、③糖尿病や慢性腎不全がある方とされています。これまで三つの感染経路が知られていますが、①「飛沫感染」は感染者が喋ったり、咳をしたり、大声を出したり、くしゃみをしたりというタイミングで飛沫がバンバン出て、これを浴びた人が目鼻口に飛沫が入り感染をすることです。また、②「接触感染」は感染者から出た飛沫がものの表面を汚染し、除菌されないうちに非感染者がそれに触って目鼻口に運ぶ、これによっても感染を起すわけです。さらに、小さい水滴の粒が重力にあまり影響を受けずに一定の空間を漂い、風に乗って流されて二m以上先の人が吸入することで感染する③「マイクロ飛沫感染」ということも危惧されており、いわゆる三密空間で起きやすいと言われています。そこで換気が大切ということになります。なるべく部屋の対角線上の窓を開け、風通しに気をつけて、通常は約三〇分に一回五分程度を目安に行っていただけだと思います。この際、室温にも気を配り、湿度は四〇%以上に保つことが大切です。新型コロナウイルスは、三七℃で一日、一二℃で七日、四℃で十四日間、感染力が保たれますので室温は二十〜二十五℃を維持しましょう。また、湿度が四〇%以下になるとウイルス飛沫の水分が蒸発して軽くなるため、落下速度はゆるやかに約三〇分間、空气中を漂うことになりやすいため湿度にも気をつけてください。

ウイルス検査についても少し触れておきます。まず①「PCR検査」ですが、発病前二日から発病後七日間ぐらいがPCR検査のベストタイミングで、喀痰よりも咽頭拭の方がわずかに陽性率が高いようです。次に②「抗原検査」ですが、発病から七日間以内であれば唾液の検査をする事が一番確実かと思えます。みなさんが病院で受けるインフルエンザ検査と原理は同じで、短時間で結果が出る、特別な検査機器を必要としないことから速やかに判断が必要な場合に用いられることが多いです。注意して欲しいのは③「抗体検査」で、通販などで検査キットが安く購入できるようです。この検査は本来、過去に感染して抗体を持っているかどうかを調べる検査(罹患してから二週から三週目以降に出てくる)でいま感染しているかどうかの診断には使えません。いずれにせよ検査は最後の手段であり、日頃から感染症にかかりにくい生活様式、①三密を避け、②手指衛生をしっかりと保ち、③ソーシャルディスタンスをとって、ユニバーサルマスク(普段からマスクをつける)を徹底することが大切です。

最後に、総合南東北病院附属須賀川診療所は、脳神経外科・神経内科外来の「診療部門」と、通所リハビリテーション・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の「介護サービス部門」から構成されていますが、開所時より「脳神経専門の診療所」として地域の皆様のご要望にこころをこめて努力して参りました。本年も職員一同、皆様に「満足頂けるよう心がける所存でございますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。



南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川
 電話 (0248) 73-3329 (営業時間)
 (0248) 73-3129 (8:30~17:00)
 ファックス (0248) 72-9590
 eメール : sukagawaclinic@mt.strins.or.jp
 ホームページ : <http://www.sukagawa-clinic.com/>
 〒962-0032
 須賀川市大袋町206-2
 (一財) 脳神経疾患研究所
 附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所
 電話 (0248) 73-3331 (代表)
 【関連事業所】
 南東北須賀川居宅介護支援事業所
 南東北訪問看護ステーション たんぼぼ